

事業概要票

事例NO. 66 (平成25年度発表)

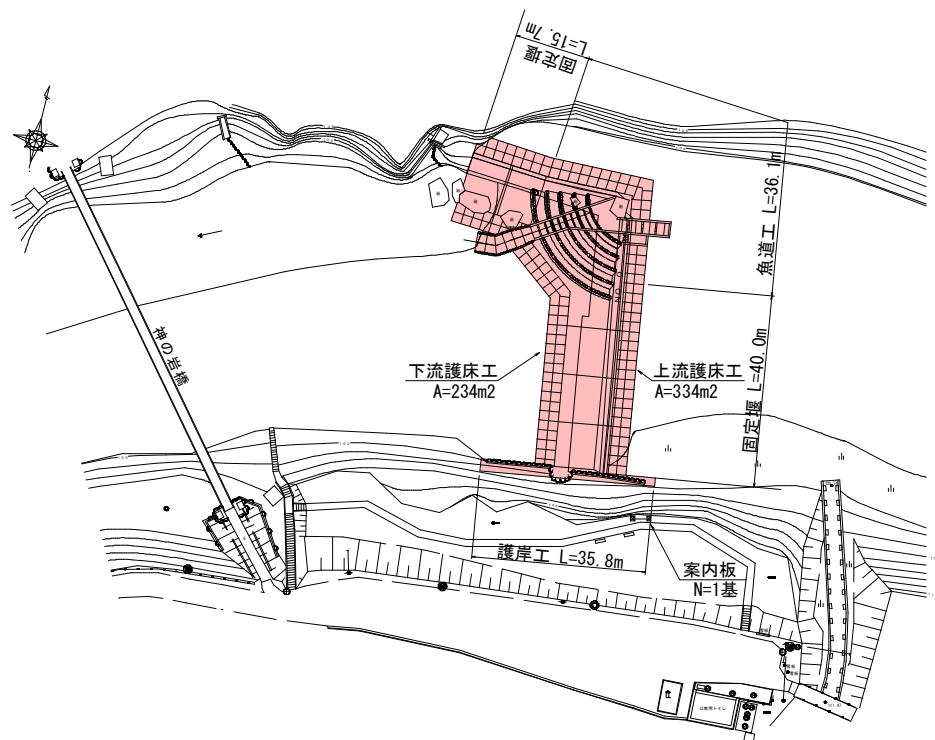
事例キーワード

魚類の円滑な遡上
環境との調和

事業名		地域用水環境整備事業 若松堰地区	魚類の円滑な遡上 環境との調和
事業担当機関		仙北地域振興局 農林部農村整備第一課	
事業期間		平成22年度～平成24年度	
実施場所		仙北市田沢湖卒田	
事業概要	全体事業費	146百万円	
	工事概要	固定堰工 L=55.7m、魚道工 L=36.1m 護岸工 L=35.8m、護床工 A=568㎡	
	事業の目的	若松堰頭首工は、田沢湖抱返り県立自然公園内に位置し、頭首工位置は絶景ポイントとして知られている。しかし、頭首工本体の老朽化が著しく、洪水時等に堰自体が流出する恐れがあった。また、魚道施設も未設置であり、魚類等の遡上が阻害されていた。このため、本事業で改修を行い、農業用水の安定供給を図るとともに、施設整備を行うことで適切な保全・管理を行い、潤いと安らぎの場を提供し、農業の多面的機能が十分に発揮されることを目的とする。	
環境配慮の内容	1.工法検討 学識経験者や地元住民を交えた環境検討委員会を開催し、改修工法の検討を行った 2.魚類の円滑な遡上 既往調査資料及び聞き取り調査により対象魚種を把握し、遡上・降下に支障の無い構造とした 3.環境との調和 魚道工・固定堰工・護岸工・護床工、全ての工種において現地の自然石を使用し景観に配慮した 既存の巨岩については、撤去せずに存置した 4.案内板の設置 農業用水利施設の多面的機能を来訪者にPRするために設置した		
施工後の状況	・現地の自然石を用いることにより、周辺環境と調和の取れた景観となっている ・漁業協同組合への聞き取りにより、魚類の遡上が確認されている		

図面、写真、説明

平面図



事例NO. 66 (平成25年度発表)

魚道工標準断面図

